Panasonic®

施工説明書
取扱説明書

保管用

LED投光器用
電源ユニット

電源ユニット品番	適合灯具	塩害仕様
NNY28108	NNY24702 NNY24703 NNY24707 NNY24708	耐塩害仕様

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠ 警告

●**施工は、施工説明にしたがい確実に行う。**施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
●**表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。**
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
●**電気設備技術基準にしたがい必ずC種（特別第三種）接地工事をする。**不備があると、感電・火災の原因となります。
●**電源線の接続後の絶縁・防水処理（融着テーピング等）は確実に行なう。**感電・火災の原因となります。
●**単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。**火災の原因となります。
●**浴室など湿気の多い場所、振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、クレーン設置場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地、塩素を使用する屋内プール等、粉塵の多い場所では使用しない。**器具の落下や絶縁不良による感電の原因となります。
●**密閉された空間では使用しない。**発煙・発火及び器具の耐用年限が短くなる原因となります。
●**器具を改造しない。**落下・感電・火災の原因となります。
●**器具の取付けには必ず平座金、ばね座金、六角ナット2個を使用する。**取付けに不備があると器具落下の原因となります。
●**電源ユニットはケーブルグランドが下側になるように設置する。**指定外の方向に取付けると浸水による感電・火災の原因となります。
●**電源ユニットの接続部カバーを開けたまま放置しない。**感電・火災の原因となります。
●**落下防止ワイヤーは取付方法にしたがい、確実に取付ける。**取付けに不備があると器具落下の原因となります。
●**フィルターには触れない。**フィルターに変形・緩みがおこると、浸水による感電・火災の原因となります。
●**電源ユニットを連接する場合は150mm以上離して設置する。**過熱による発火の原因となります。
●**草木で電源ユニットが覆われるような場所では使用しない。**電源ユニット損傷による器具破損、火災の原因となります。

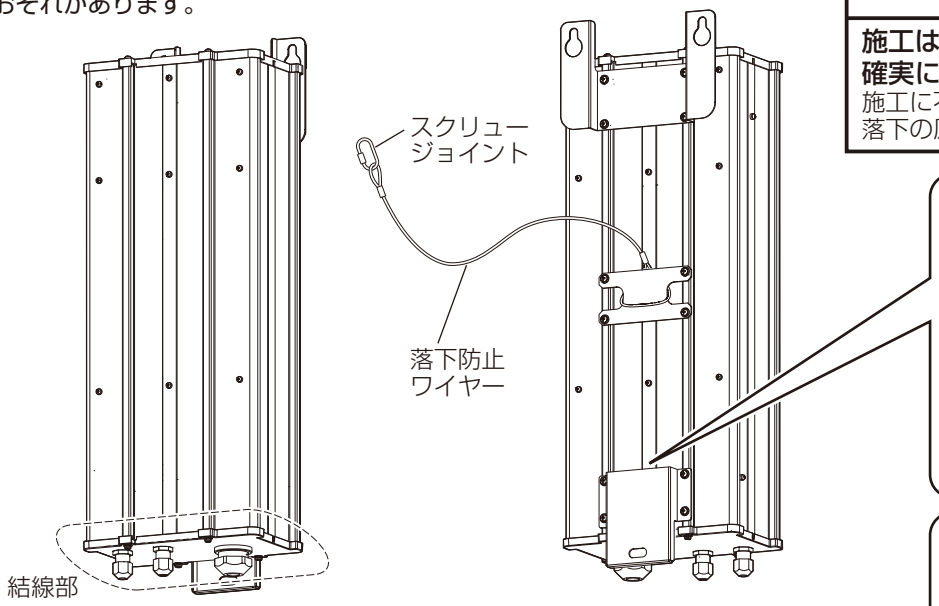
⚠ 注意

●**この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。**落下・感電・火災の原因となります。
●**風速60m/s仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では使用しないでください。**器具落下の原因となります。
●**電源ケーブルは600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブル又は600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。**
灯具と電源ユニット間　　：ϕ14.5～ϕ18.5（0.75～2.0mm^2、9芯線又は10芯線）
電源ユニットの電源・送り用：ϕ10.5～ϕ14.5（2.0～3.5mm^2、3芯線）
指定外ケーブルを使用すると浸水による感電・火災の原因となります。
●**灯具と電源ユニット間のケーブル長さは50m以下としてください。**電圧低下による不点の原因となります。
●**周囲温度は、−20～35℃で使用してください。日中の一時的な点灯は15分以内にしてください。**
器具の耐用年限が短くなったり、不点、火災の原因となります。
●**積雪地域で使用する場合、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。**器具破損の原因となります。
●**冠水の恐れのある場所では使用しないでください。**感電の原因となります。
●**寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。**
つらら落下による怪我の原因となります。
●**スイッチを接地側に取付けた場合、ノイズにより消灯後もLEDが薄暗く点灯する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。**（接地側の無い電源では両切りスイッチをお勧めします。）
●**高周波対応型漏電ブレーカーを使用してください。**
漏洩電流は最大2.0mA流れます。適切なブレーカーを選定ください。
旧タイプの漏電ブレーカーを使用の場合、ブレーカーがトリップする場合があります。
また、使用するブレーカーの感度電流設定値に注意してください。
ブレーカーは必ず両切りとなるよう接続してください。
●**器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。**けがの原因となります。

取説No.NNY28108-T6

電源ユニットの設置・取付方法

・電源ユニットの取付け取外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。



⚠ 警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

フィルターには触れないでください。
フィルターに変形・緩みがおこると、浸水による感電・火災の原因となります。

付属品

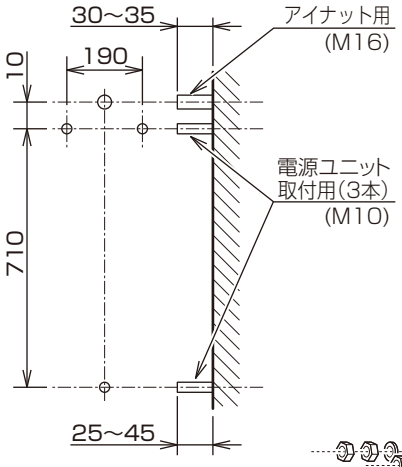
防水パッキン
（穴有り）

・電源を送る場合に使用します。
（次ページ参照）

1 取付前の確認

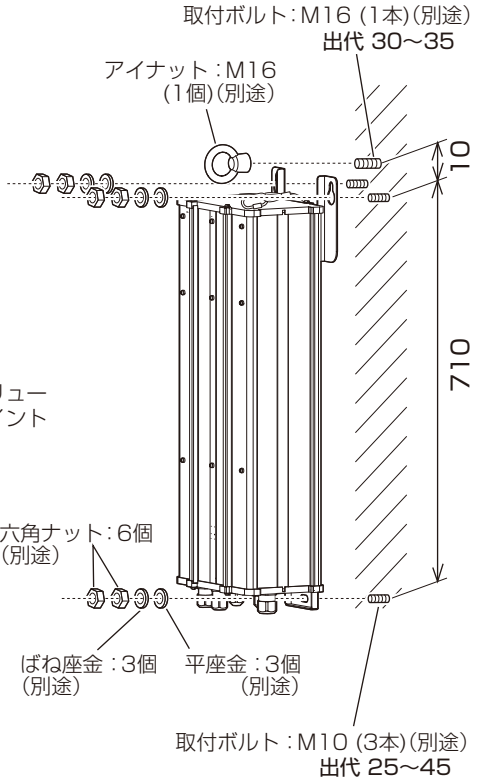
・器具質量（15.5kg）および
風圧荷重に耐えるように、
取付ボルト：M10（3本）、M16（1本）
を用意してください。

取付ボルト設置図



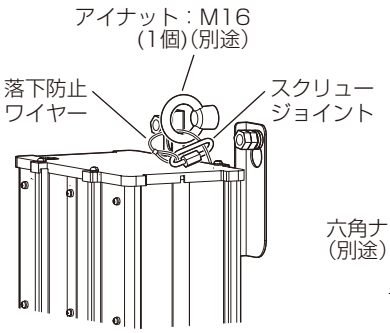
2 電源ユニットの取付

・電源ユニットの固定は、平座金(別途)、
ばね座金(別途)、六角ナット2個(別途)を使用し、
取付ボルト：M10（別途）3本に
ダブルナットにて確実に締め付ける。
（推奨締付トルク M10：24N·m）
・電源ユニットは結線部が下側になるようにして
設置してください。
不備があると落下、浸水による感電の原因になります。



3 落下防止ワイヤーの固定

・取付ボルト：M16(別途)に、
アイナット：M16(別途)を
確実に締め付ける。
・落下防止ワイヤーをアイナット：M16
に通し固定する。
スクリュージョイントはスパナ等の工具を
使用し、ネジ部を確実に締め付けてください。
（推奨締付トルク 1N·m以上）
不備があると落下の原因となります。



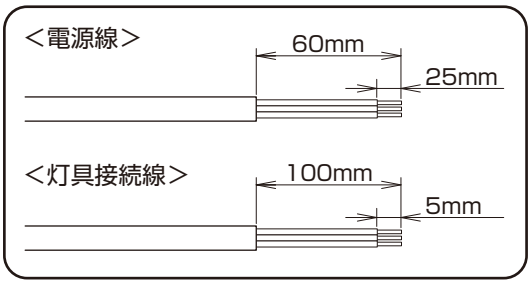
⚠ 警告

落下防止ワイヤーを固定する際は、器具取付位置から上方にアイナットを設置し、ワイヤーがたるまないように施工する。
不備があると落下の原因となります。

※電源線の接続・灯具との接続については、
電源線・灯具接続線（次ページ）
をご参照ください。

電源線・灯具接続線の接続

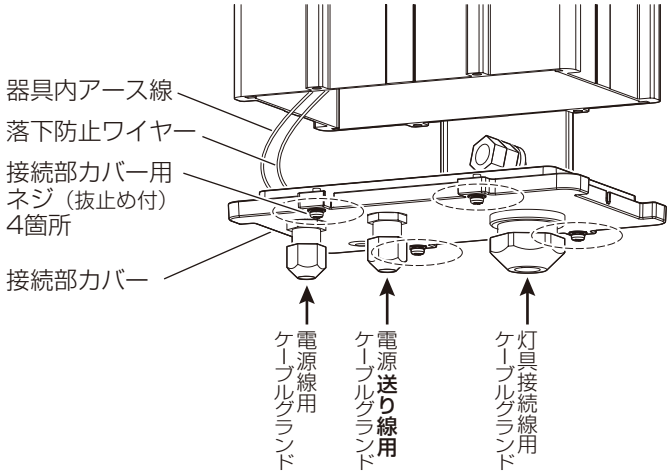
●以下の手順で電源ユニットに電源線・灯具接続線を接続してください。



・電源線（別途）の先端の外被覆を剥く。（右図参照）
適合ケーブル：φ10.5～φ14.5
（2.0～3.5mm^2、3芯線）
（電源を送る場合、送り線（別途）も同様に加工してください。）

・灯具接続線（別途）の先端の外被覆を剥く。（右図参照）
適合ケーブル：φ14.5～φ18.5
（0.75～2.0mm^2、9芯線又は10芯線※1）
※1：10芯線を使用する場合は、1本を切断し、
絶縁テープ等で確実に絶縁処理してください。

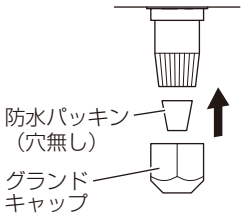
・接続部カバー用ネジ（抜止め付）4箇所をゆるめ、
接続部カバーを取外す。
（ゆるめすぎると抜止めが外れます。）

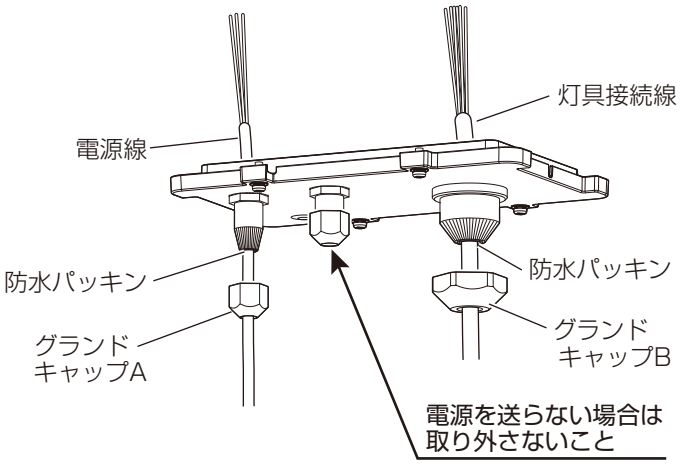


・グランドキャップA、グランドキャップBを取外し、
電源線・灯具接続線を、それぞれのグランドキャップと
ケーブルグランドに通す。

＊内部の防水パッキンは
取外さないでください。
取外した場合は必ず
付け直してください。

（防水パッキン（穴無し）は取付の方向性があります。（右図参照）逆向けに取り付けた場合浸水の原因となります。）



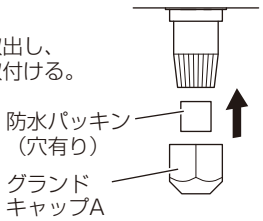


電源を送る場合、電源送り線用のケーブルグランド内の防水パッキンを交換してください。

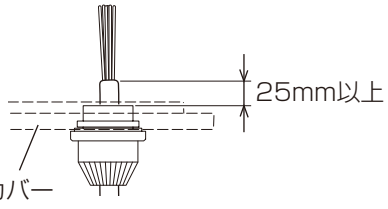
①電源送り線用のケーブルグランドから
グランドキャップAを取外す。

②内部の防水パッキン（穴無し）を取出し、
付属の防水パッキン（穴有り）を取付ける。

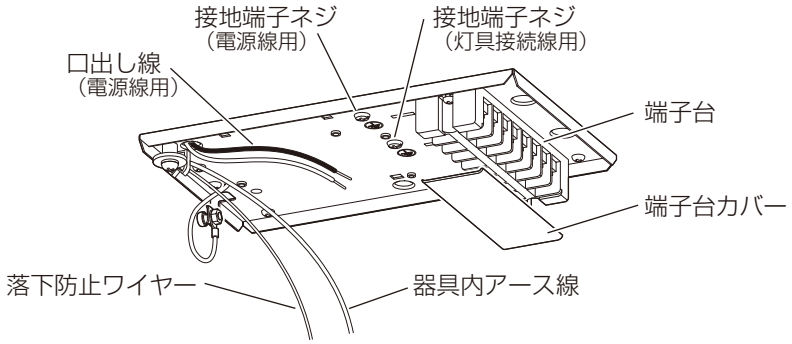
③電源送り線を、
グランドキャップAと
ケーブルグランドに通す。



・電源線・灯具接続線の外被覆が
ケーブルグランドから25mm以上に
なるように整える。



・端子台から端子台カバーを取外す。

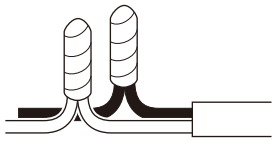


取説No.NNY28108-T6

電源線・灯具接続線の接続（つづき）

＜電源線の接続＞

・器具口出し線に電源線を接続する。
・器具口出し線部に水がかからないように施工を行う。
・接続部の絶縁、防水処理（融着テーピング等）を確実に行う。
・C種（特別第三種）接地工事が必要。
アース線を接地端子ネジ（電源用）に確実に接続する。
・口出し線の接続は、
電気設備技術基準の省令第7条、
および同解釈第12条にしたがうこと。



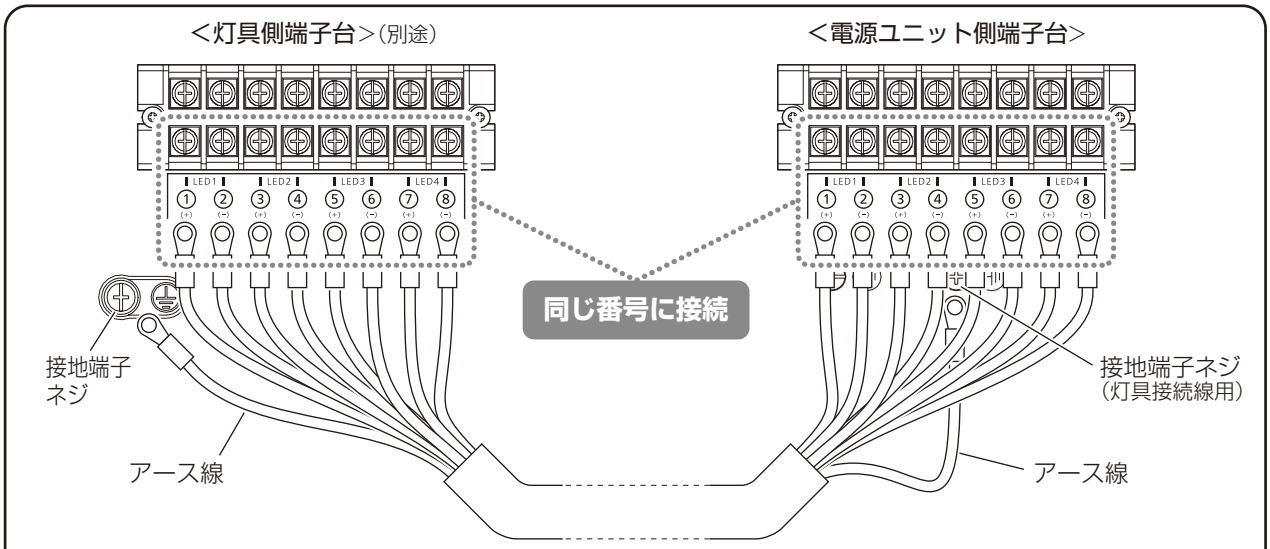
圧着スリーブ等で結線後、
テーピング処理する

⚠警告

接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

＜灯具接続線の接続＞

・灯具接続線（9本）に、
絶縁被覆付R型圧着端子（M4用）(別途)を取付ける。
・1本はアース線として使用してください。
・灯具接続線を端子台に確実に接続する。
（推奨締付トルク　M4：1.2N·m）
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
・アース線を接地端子ネジ（灯具接続線用）に
C種（特別第三種）接地工事を行う。
接続が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

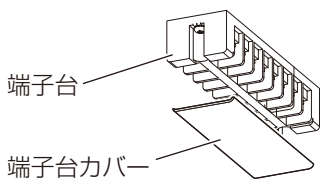


・灯具側端子台(別途)と電源ユニット側端子台の
番号を合わせて 接続してください。
・接続線には **極性** があります。
・結線を間違えた場合、**器具が不点または耐用年限が短く**なります。

＜配線のチェックにご使用ください＞

端子番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
配線色								

・端子台に端子台カバーを確実に被せる。
不備があると、感電の原因となります。

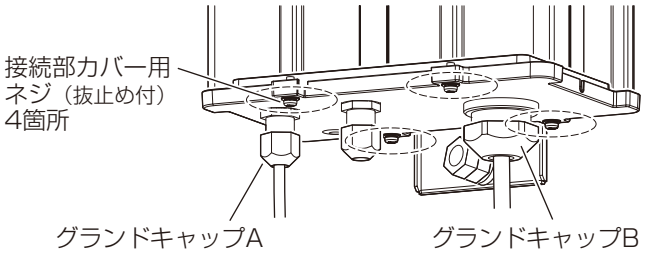


電源線・灯具接続線の接続（つづき）

・外被覆が電源ユニット内に20mm以上入るように調えながら、
グランドキャップA、グランドキャップBを確実に締め込み固定する。

（推奨締付トルク
グランドキャップA：3.2N·m
グランドキャップB：4.7N·m）

取付が不完全な場合は浸水による感電の原因になります。



・電源ユニットに接続部カバーを合わせ、
接続部カバー用ネジ4箇所を確実に締め込み固定する。
（推奨締付トルク2.1N·m）

取付が不完全な場合は浸水による感電の原因になります。

取説No.NNY28108-T6

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●器具の改造および構成部品の交換をしない。発火・感電・落下の原因となります。

●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

●お手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因となります。

●積雪地域で使用する場合、積雪期間、雪に埋もれないよう除雪してください。
器具破損の原因となります。

●寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。
つららの除去を行ってください。
つらら落下による怪我の原因となります。

●殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないで下さい。
発火によるやけどの恐れがあります。

●布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。
発火の原因となります。

●電源ユニットには耐用年限があります。設置場所により環境ストレスは異なります。
ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。
又、設置して10年 (※1) 経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
点検交換してください。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

■周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。

保証について

・保証について……　この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
　詳細は弊社カタログをご参照ください。
・保証書について……　保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
・補修用性能部品の保有期間……　弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
　補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

・器具の清掃について
　汚れを落とす場合は、石けん水に浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、
　乾いた布で仕上げてください。
　アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンで拭かないでください。変色・変質の原因となります。
　強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

必ず電源を切ってから行ってください。
感電の原因となります。

■定格

定格電圧	入力電流	消費電力	周波数	二次側電流
AC400V	3.25A	1260W	50/60Hz	1.1A×4
AC460V	2.83A	1260W		

■リサイクル　電源ユニットを廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441（フリーダイヤル）【受付時間】月～土/9:00～18:00（祝日・三が日を除く）※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX)

KE0419-060426